

1. 研究課題名

当センターで15年間に治療した羊水塞栓症10例の検討

2. 試料・情報

(1) 利用目的

羊水塞栓症は急激な呼吸循環動態の悪化や治療抵抗性の子宮弛緩、非凝固性出血の遷延を引き起こす重篤な疾患です。発症頻度は2～3万分娩に1件程度と稀ですが、母体死亡率は60～80%と予後は不良です。本研究は、当院で治療した羊水塞栓症症例について、臨床経過及び転帰について後方視的に検討し、今後の診断や治療の一助となることを目的としています。研究期間は承認日から2026年3月までです。

(2) 利用項目、提供方法

本研究は、2010年1月から2025年3月の間に、当院で治療を行った臨床的羊水塞栓症の症例の診療記録を利用して行います。利用する情報は、母体背景、妊娠・分娩経過、検査結果の推移、治療経過などで、利用を開始するのは、本研究が承認された日以降です。

(3) 利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター 産婦人科 安東奈於（研究責任者）

(4) 管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター

3. 参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、以下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合でも、不利益を被ることはありません。

4. 問い合わせ先

日本赤十字社医療センター

〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22

TEL: 03-3400-1311 FAX: 03-3409-1604

担当: 産婦人科 安東奈於、有馬香織